

かけはし

| 広 | 報 | 誌 |

KAKEHASHI

HIMI



患者さんと病院と
地域をつなぐ広報誌



TOPICS ●

平成27年度 新規採用者入職式

氷見おひさまガーデン

CONTENTS ● もくじ

TOPICS	平成27年度 新規採用者入職式	P.01
	新入職者紹介	P.02
	平成26年度 北陸がんプロ 金沢医科大学氷見市民病院 市民公開講座	P.03
特集	初期臨床研修修了式	P.05
	伊藤先生の診察室から	P.06
	診療コラム	P.07
	病院★ニュース	P.08
	病院からのお知らせ掲示板	P.08
	まちかど情報	P.09

病院の理念

私たちは「生命の畏敬」を医療活動の原点として
次のような病院を目指します。

- 医療人としての研鑽に励み、患者さん中心の医療を実践します。
- 住民の健康と生命を守る中核病院として、安全で質の高い医療を提供します。
- 地域の医療機関と協力し、地域の医療福祉の向上に貢献します。
- 将来の地域医療の担い手となる有能な医療人を育成します。

金沢医科大学氷見市民病院

平成27年度 新規採用者入職式

平成27年4月1日(水)午後2時から病院6階多目的ホールにおいて、金沢医科大学氷見市民病院に新たに採用された職員30名の入職式が行われ、高島茂樹最高経営責任者(CEO)並びに齋藤人志病院院長、病院幹部職員が列席しました。

式では、高島茂樹CEOから新入職員代表の金谷聡子さんに採用辞令が交付され、その後「病院職員としての心構えを持つことや、社会人として自覚を持った言動をし、患者さん中心の医療を行うこと、そして患者さんだけではなく職員同士でもお互いに気配り・心配りをしながら、明るく働きがいのある職場環境作りを行うて欲しい。そして私学の病院職員として意識を持って業務にあたってほしい」との挨拶がありました。続いて齋藤人志病院院長から「職員一人ひとりがチーム医療を意識し、患者さんの治療のために自己研鑽、スキルアップするよう努力しながら個々の力を発揮してほしい。そして、スタッフ間での情報交換がス

ムーズに行える環境作りをしながら、場をわかまえた笑顔で挨拶とマナーを大切に業務に励んでいただきたい」と挨拶がありました。

続いて、新入職員を代表として看護部 由水大和さんが「社会人として自己研鑽に努めると共に、金沢医



新入職員代表の宣誓



齋藤人志病院院長からの訓示

科大学の諸規則を遵守し、金沢医科大学氷見市民病院の事業発展のため一致協力して、職務に精励します。」と力強く宣誓を行いました。

入職式終了後、病院長から「病院の概要と運営」についての講演が行われ、新入職員は、引き締まった表情で聞き入っていました。

翌日より、3日間にわたりオリエンテーションを含め、医療安全と感染防止の基礎知識についての講義や健康管理、防災対策、個人情報保護などの研修、各部門の説明がありました。また、新人看護師のサークル「りんごステーション」の紹介やBLS研修が行われた後、各配属先での勤務が開始されました。

平成
27年度

新人オリエンテーション

4月2日(木)

- ① 医療安全の基礎知識について
- ② 感染防止の基礎知識について
- ③ 職業人としての健康管理について
- ④ 職場における防火と防災について
(氷見市消防本部)

- ⑤ 病院設備と防災・防犯設備について
- ⑥ 各部門紹介

4月3日(金)

- ① 各部門紹介

4月6日(月)

- ① 接遇研修
- ② BLS研修



接遇研修



BLS研修

新入職者 紹介

新しく6名の医師着任

看護部 19名



医療技術員・事務員 7名



医師 6名



整形外科

研究医 相馬 大輔



腎臓内科

医員 松浦 寿一



内分泌・代謝科

助教 永井 貴子



総合診療科

助教 川向 純



初期臨床研修

臨床研修医 岩城 次郎



皮膚科

研究医 南部 昌之

眼科 視能訓練士
古井 千聖さん



昨年病院見学させてもらった時に患者さんに一人ひとりに優しく、とても雰囲気良く職場環境も整っている病院だと思い入職を希望しました。

眼科では、視能訓練士が二人体制になったことで、さらに充実した検査や訓練が行えるようになっています。今後は先輩からたくさんのお話を学び、患者さんに安心して受診してもらえるように、そして頼ってもらえるよう努力したいと思います。



平成26年度

北陸がんプロ 金沢医科大学氷見市民病院

市民公開講座

平成27年2月28日(土)氷見市いきいき元気館3階ホールにおいて、市民や医療関係者の方々を対象に「北陸がんプロ金沢医科大学氷見市民病院市民公開講座」が開催されました。

開催にあたり高島茂樹最高経営責任者(CEO)から、平成19年4月に施行された「がん対策基本法」に基づき文部科学省が「がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つ、がんに特化した医療人の養成」並びに、「一般市民へのがんに対する啓蒙」を目的とし



高島 CEO 開催挨拶

て本講座が創設されたとの説明があり、またその真のねらいはがん対策として「年間40万人近いがんによる死者数の減少を図ること」、「患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上を図ること」、更には「がんになっても安心して暮らせる社会を構築すること」の三点にあることを強調されました。これらの観点から病院としては日々、がん治療とその予防対策に全力を傾けています。本日の講座を通じて、氷見市民の方々へのがんに対する啓蒙に貢献できればとの挨拶がありました。

第1部

基調講演

金沢医科大学理事で横浜相原病院長吉田勝明先生のご紹介により、ロサンゼルスオリンピック体操金メダリスト

で、日本体育大学教授具志堅幸司氏の講演が行われました。齋藤人志病院院長の司会で「わたしの健康法」と題して、これまでの経験から目標を立てる事の大切さを説明され、ご自身が2度の大きな怪我を乗り越えて、オリンピックで金メダルを受賞するまでの過程の中でオリンピック出場の実現するため、治療をしながらトレーニングに励んだエピソードや、中学2年生の時に抱いた夢が現実となるまでの体験を紹介され、参加者は興味深く聞き入っていました。



具志堅幸司氏の講演



第2部
特別講演
「がん治療の最前線」



金沢医科大学泌尿器科学 宮澤克人教授

呼吸器内科 井口昌晴准教授を座長に、「前立腺がんの最前線」疫学から最先端医療へ」と題して、金沢医科大学泌尿器科学 宮澤克人教授がご講演されました。講演では、「最近の罹患された著名人の話を交えて、前立腺がんが近年急激に増加し、罹患率が肺がんを抜いて2位となっている現状について」また治療法として手術療法、放射線療法、薬物療法があり、病態や病期に応じ治療法を選択することが大切であること、同時に「早期発見・治療で治る病気であること」などをわかりやすく説明されました。また近々、金沢医科大学病院ではロボットによる手術が可能になり、一層の低侵襲の最先端治療が実現することを強調されました。続いて、健康管理センター（病院長 補佐）松木伸夫センター長の司会のもと「胃癌健診の有用性と体に優しい内視鏡治療」と題して金沢医科大学消化器内視鏡学 伊藤透教授がご講演され

ました。これまで経験された多数例の早期胃がんの内視鏡的治療について説明があり、内視鏡検査はX線検査よりはるかに有効性が高い検査であることが紹介されました。また、胃がんとピ



金沢医科大学内視鏡学 伊藤透教授

ロリ菌の関係に触れ、ABC検診について言及されました。ABC検診とはピロリ菌の抗体検査と、胃粘膜萎縮の進行度を表すペプシノゲン検査の2種類の検査の組み合わせで、胃がんになりやすい状態かどうかを判断する検診法であるとのこと。特に先生は、定期的に健診を受けることの重要性和必要性について強調されました。「がん」という病気に対する認識と、予防のためには食生活や生活習慣の見直しが必要なこと、そして健康診断の必要性を再確認することができた一日

コンセプトと特色

北陸がんプロフェッショナル養成プログラム

1. コンセプト

1. 共通カリキュラムによる融合型教育の相互補完
2. テレビカンファレンスによる双方向教育
3. キャンサーボードによる集学的管理
4. 標準的治療の実施とアウトカムの検証
5. 臨床共同研究の推進と先進治療の開発
6. 「がんプロネット」の構築

1. 特色

本プログラムの特色は、高い臨床能力と研究能力を併せ持つがん専門医師およびコメディカル養成のための融合型教育システムの構築で、ICT(Information

& communication technology)を教育ツールとします。本プログラムに参加する4大学病院(金沢医科大学、金沢大学、富山大学、福井大学)および北陸3県のがん診療連携拠点病院は北陸地域のがん患者の70%以上を診療しており、参加全病院に各種がん診療の標準化を求め、地域のがん診療の質的向上、均てん化を図ります。北陸地域内外でのがん情報の発信・交換にも活用し、集積されたがん診療のデータベースを用いて、アウトカムの検証を行い、診療向上のためにフィードバックするとともに、臨床共同研究への発展も予定されています。本プログラムで実践されるチームワークを重視した医師お

であり、「がん」の克服には医療側の努力と同時に一般住民の意識の高さが重要であることを考えさせられました。



呼吸器内科 井口昌晴准教授



健康管理センター 松木伸夫センター長

よびコメディカルの融合型教育システムは、わが国のがんプロフェッショナル養成システムのモデルとして期待されています。北陸がんプロフェッショナル養成プログラムは、平成24年度以降も北陸高度がんプロチーム養成基盤形成プランと共に北陸がんプロとして活動を継続していきます。



特集

初期臨床研修修了式

平

成27年3月18日午後4時30分より金沢医科大学学氷見市民病院6階多目的ホールにおいて、臨床研修修了式が行われました。今年も臨床研修医の岩田嘉文先生が初期臨床研修の修了を迎え、修了証を受け取りました。

修了式では、齋藤人志病院院長から岩田先生へ「医師として患者さん一人ひとりに愛を持った治療を行ってほしい。そして各部門のスタッフと連携



岩田研修医及び指導医と各部門長

しながらチーム医療を行う環境づくりを心がけ今後の職務に従事すること、自分の身体も大切にしながら立派な医師になってください。」との激励がありました。続いて臨床研修センター長の福田昭宏教授から「今後また病院で働く機会もあるかと思えますので、大きく成長した先生とお会いできることを楽しみにしています。また、新天地ではこの病院で学んだことを十分に発揮し、頑張ってもらいたい」と門出の言葉が贈られました。

修了式には診療科長及び各部門長が列席し、岩田先生の晴れの門出を共に祝いました。



齋藤人志病院院長から修了証の授与

福田昭宏臨床研修センター長から一言

医師国家試験に合格され、いよいよ医師としての第一歩を踏み出す研修医諸君は、今からの2年間でこれまで以上に多くの事を学ばなければなりません。

研修医にとっては、まずは『臨床を学ぶ』ことに多くの時間を費やし、診療技術の習得が必須と思われれます。金沢医科大学氷見市民病院では、各科の垣根を超えた診療が日常的に行われ、指導医間での意思疎通が十分に行われている環境が構築されています。臨床研修にもその特徴が生かされることで、第一線での診療を豊富に経験することが可能で、多くの臨床技術の習得が2年間で行えます。また、多くの臨床経験の中から『研究を学ぶ』姿勢を持ち、医学生や医療従事者の育成を肌で感じ『教育を学ぶ』ことが可能であり、バランスのとれた臨床研修を実現しています。当院では、中核病院としての利点を最大限に生かし、初期臨床研修が実りある2年間とするため共に診療を行い、考え、そして議論を重ね、未来へつながる初期臨床研修を職員一丸となって行っています。



福田昭宏臨床研修センター長

伊藤先生の 診察室から

平

成20年4月に金沢医科大学大学院より木越俊和先生と小西一典先生が常勤として赴任され内分泌代謝科として、診療を開始しております。同時期に非常勤として伊藤智彦先生が診療に加わり平成21年9月より常勤として赴任されました。平成22年4月より小西先生に代わり渥美久登先生が常勤として配属され、平成22年6月をもって木越先生が退職、平成27年4月に渥美先生に代り永井貴子先生が常勤として赴任され現在に至っております。

当診療科は少人数でありながら大学に比較して遜色ない診療レベルの維持を目標にして診療を行っており、糖尿病を中心に、甲状腺及び副甲状腺疾患、膵疾患、副腎疾患、二次性高血圧症、下垂体疾患、肥満等を主に扱い、一般内科部門も平行して診療を継続しています。地域密着型の診察診療として、僻地医療にも参加しています。また栄養



内分泌代謝科 准教授

養部長として、糖尿病教室やNSTの指導監督役も担っています。

専門外来

糖尿病全般、甲状腺及び副甲状腺疾患、膵臓疾患、副腎疾患

二次性高血圧症、下垂体疾患、肥満その他内分泌性ホルモン異常疾患等

栄養部理念

栄養管理はすべての患者治療の基本であり、適切な衛生管理と病態に応じた食事の提供や栄養管理・栄養指導を通してチーム医療に参加する

嗜好調査結果

平成27年2月に嗜好調査を実施し、多数の患者さんより「おいしい」とご意見を頂きました。貴重なご意見を頂き、ご協力ありがとうございました。今後も患者さんの嗜好に添った安全でおいしい料理を提供していきたいよう、栄養士・調理師共に努力していきます。

調査方法

昼食時、配膳トレーにアンケート用紙を配布し、栄養士が病室訪問し用紙を回収します。自書できない患者さんには、栄養士が聞き取りを行いました。以下にご意見

伊藤 智彦

TOMOHIKO ITO

の二部とその回答を紹介いたします。
ご意見

○病院食だから仕方がないかもしれませんが、味が薄い。

回答 高岡厚生センターより、年々塩分量を減らすよう指導を受けており、現在塩分8g程度を目標としております。鰹節や昆布でだしを濃くとり、酢などの調味料やシヨウガなど食品で味のバリエーションを出すことで塩分控えめでも食べやすい工夫をしております。また、塩分を控えるため味噌汁は朝のみ提供させていただいております。

○刺身が食べたい。

回答 生ものは食中毒などの危険性があり衛生管理上、提供しておりません。また、持ち込みもご遠慮願います。

○天ぷらや麺類が食べたい。

回答 天ぷらやうどん、そばは20日に1〜2回程度提供しています。

※NST: Nutrition Support Teamの略語

入院患者さんに最良の栄養療法を提供するために、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・臨床検査技師・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・事務など多職種が連携して構成された医療チームのこと

永井貴子 ★ 略歴

【略歴】

- 平成20年3月 金沢医科大学卒業
- 平成22年4月 金沢医科大学 糖尿病・内分泌内科
- 平成27年4月 金沢医科大学氷見市民病院 内分泌・代謝科助教



永井貴子 助教

伊藤智彦 ★ 略歴

【略歴】

- 昭和57年 金沢医科大学入学
- 平成5年 東北大学第二内科入局
- 平成7年 金沢医科大学内分泌代謝内科入局、同助手
- 平成17年 同講師
- 平成21年 金沢医科大学氷見市民病院 准教授



伊藤智彦 准教授(科長)

診療コラム

中央臨床検査部・病理部



業務内容

中央臨床検査部は生化学・免疫・一般、血液、輸血、細菌、生理の各部門検査と病理部から構成され、井口部長のもと臨床検査技師18名(内非常勤2名)にて24時間体制での業務を行っています。

正しい検査データ

一般的に検査データには、肝機能や貧血など指数を示す数値化されたデジタルな検査データと、心电图やエコー検査などのグラフや画



血液検査



生化学検査

像といったアナログ的な検査に分けられますが、どちらも検査機器が正常に動いていることが前提となります。そのために必須となるのが精度管理業務です。

精度管理業務

検査データを出す上で必要なことは世界的に基準となる物質や数値を用いてコントロールし、正確に検査が行われているかを確認することです。また日々使用して

いる機器は周囲の環境や使用状況により少しずつ変化しているため、分析機器が正常にコントロールされているかを確認する作業が精度管理業務です。この業務は正確・精密さを裏付けるために毎日行っています。

精度保証施設認証取得

日々、院内での精度管理を行っても他の施設とのデータが異なっているという意味がありません。そのため、

全国・富山県独自の精度管理事業の参加や各メーカー独自のサーベイに参加をし、正確・精密さを確認しています。その成果として日本臨床検査技師会より、標準化され且つ、精度が保証された施設に対して交付される精度保証施設認証を平成23年の第一期から二期連続で取得し、27年度は三期目を取得しました。



細菌検査



細胞診

総合防災訓練

平成27年3月18日に平成26年度の災害訓練が金沢医科大学氷見市民病院で行われました。訓練は院内15箇所に出火場所を想定した第1次訓練、3階東病棟を出火場所とした自衛消防隊による第2次訓練、中央監視室によるエレベーター閉じ込め者の通報救出訓練が第3次訓練として実施されました。

第1次訓練は、各部署約80名が参加し、初期消火の訓練が行われました。第2次訓練は、約50名が参加し、通報初期消火、避難誘導の訓練が行われ、ロープによる徒歩の避難や、エアーストレッチャーを利用して歩けない患者さんを想定した模擬患者を1階まで運ぶ訓練がありました。

防災センター入口に設置された自衛消防隊本部では、訓練中各部署より避難や消火活動の状況の報告を受け、避難完了と鎮火の報告を受けて訓練が終了となりま



平成26年度 医薬品安全管理研修会

〈知っておきたい医薬品情報〉

平成27年3月12日(木)、当院の6階多目的ホールにおいて、医薬品安全管理研修会が開催されました。研修会の前に、平成26年度の医薬品安全標語51作品の中から職員の一部では、看護部と健康管理センターの2作品と一般の部の2作品が優秀作品として表彰されました。つづいて、当院の医薬品安全管理責任者である小堀勝薬劑部長の講演がありました。

昨年の11月に改正薬事法が施行され、名称も薬機法に変更されました。製造販売業者に対しては添付文書の国への届け出が義務付けられ、医療機関にも副作用等を報告することが義務付けられました。提供する医薬品情報、注意が必要な医薬品など、例をあげて細かな説明がありました。

おわりに、仕事をする上で、人はミスを犯す可能性が非常に高いが、ミスは隠さず、エラー報告しやすい環境作りが大切であることの指摘がありました。



病院からのお知らせ掲示板

開催日	演題(予定)	講師
5月16日(土)	一開講式— アルコールと肝臓～あなたの肝臓疲れていませんか～	病院長 齋藤人志 消化器内科 准教授 浦島左千夫
6月20日(土)	水虫のはなし～しっかり治療したら治ります～	皮膚科 准教授 渡邊晴二
7月18日(土)	知っておきたい認知症～備える・支え合うために～	看護部 老人看護専門看護師 中村美穂 主任看護師
9月19日(土)	メタボと肥満のための健康法 摂取カロリーと食事の摂り方	健康管理センター センター長 松木伸夫 栄養部 長谷 恵 主任管理栄養士
10月17日(土)	知っていますか すい臓のこと～すい臓の病気について～	病院長・一般消化器外科 教授 齋藤人志
11月21日(土)	症状が出にくい腎臓病～あなたの腎臓は大丈夫？～ 一修了式	腎臓内科 講師 齋藤淳史 病院長 齋藤人志

問合せ先 氷見市民病院 総務課 (0766-74-1900)

変更になる場合がございますので、事前にお問い合わせください。また、演題は仮のものです。

●平成27年度 「健康づくり教室」の予定

●平成27年度 高齢者の肺炎球菌感染症予防接種のお知らせ

対象者

次の①②のいずれかに該当する方(ただし、すでにこの予防接種を受けたことがある方は対象外となります。)

①65歳 (S25.4.2)

S26.4.1生の方

70歳 (S20.4.2)

S21.4.1生の方

75歳 (S15.4.2)

S16.4.1生の方

80歳 (S10.4.2)

S11.4.1生の方

85歳 (S5.4.2)

S6.4.1生の方

90歳 (T14.4.2)

T15.4.1生の方

95歳 (T9.4.2)

T10.4.1生の方

100歳 (T4.4.2)

T5.4.1生の方

②60歳以上65歳未満で心臓・じん臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害がある方(身体障害者手帳1級相当)。

接種期間 平成27年4月1日～

平成28年3月31日

個人負担金 3,000円

(健康保険証を持参してください。)

問合せ先 氷見市健康課

☎0766-174-8062

病院運営の基本方針

1. 患者さん中心の病院運営を行います。
2. 安全で信頼される医療の提供に最善を尽くします。
3. 患者さん・ご家族への「説明と同意」を徹底します。
4. 高度医療、質の高いチーム医療を推進します。
5. 地域の中核医療機関として地域医療連携・支援を推進します。
6. 良医の育成と医療人の教育・研修を推進します。
7. 働き甲斐のある健全で活力ある病院づくりに努めます。

患者さんの権利

当院は医療の中心は患者さんであると認識し、患者さんには次のような権利があることを宣言します。

- 安全で良質な医療を公平にうけることができます。
- 病気や治療内容について、分かりやすい言葉で説明を受け、ご自分の希望や意見を述べるすることができます。
- ご自分の意思で治療方法や医療機関を選択することができます。
- 診療記録の開示を求めることができます。
- 他の医療機関を受診することを希望されるときは、必要な情報提供を受けることができます。
- プライバシーは尊重され、個人情報 は 厳重に保護されます。
- 臨床研究に関して十分な説明を受けたうえで、その研究に参加するかどうかご自分の意思で決定できます。また、いつでも参加を取り消すことができます。
- 治療に関する自己決定の参考にしていただくため、セカンドオピニオンを受けることができます。

患者さんへのお願い

当院は、地域の中核病院としての社会的使命を果たすため、様々な医療を提供しています。患者さんには、次のことをご理解いただき適切な医療を行うためご協力くださいますようお願いいたします。

- 健康状態、その他必要なことを可能な限り正確にお話ください。
- 説明を受けてもよく理解できない場合は納得できるまでお聞きください。
- 治療を受ける場合は、医療スタッフの指示に基づき療養してください。
- 病院のルールを守り、他の患者さんの迷惑にならないよう配慮ください。
- 教育病院として、医師、医学生、看護学生、医療専門職の学生、救急救命士などの臨床実習・研修教育を行っております。厳重な指導のもとに実施していますので、ご理解とご協力をお願いします。

まちかど情報

能越自動車道 全線開通

国道470号能越自動車道が平成27年2月28日に全線開通しました。

北陸自動車道・東海北陸自動車道の小矢部砺波JCTから七尾ICまで1本で繋がり、高岡市から七尾市までは国道160号とほぼ並走しています。

国道160号の氷見市から七尾市の間はこれまで越波や大雨、土砂崩れ等によりしばしば通行止めになったり、幅員が狭い区間も多いことから、歩行者の安全確保が難しい面があった。

りましたが、能越自動車道が代替補完ルートとなり、車、歩行者がより安全に通行できることが期待されます。

また、富山・石川県境地区より氷見市、高岡市、七尾市それぞれの市街地にある病院への緊急搬送時間の短縮が見込まれるほか、同年3月14日に開通した北陸新幹線との相乗効果で観光地への連絡性が改善し、更なる集客が期待されます。



エコロジーガーデン

ecology garden

アオワーネッキー

(リュウゼツラン科 ドラセナ属)

「アオワーネッキー」はドラセナ属の中でも、日陰に強く管理しやすい植物です。葉も濃い緑で光沢があり、成長しても横に広がらず育てやすいため、オフィスやお店などに多く飾られています。

また、シックハウス症候群の発症を招く物質ホルムアルデヒドを除去する作用があるとも言われています。屋内空気の浄化をしながら快適な環境を作るために、お部屋のインテリアとして取り入れてみてはいかがでしょうか。



スポンサー企業

- (有)アカシア商会 ● サカキ産業株式会社 ● たんぼ薬局 氷見店 ● 株式会社つばめ交通タクシー ● ニッショク株式会社 ● 日本海綿業株式会社 ● 株式会社ビー・エム・エル ● 氷見伏木信用金庫 ● ファーマライズ株式会社 ● 北陸コカ・コーラボトリング株式会社 ● 北陸総合警備保障株式会社 ● 高岡支社 ● 株式会社山下設計 ● 米沢電気工事株式会社 ● 菱機工業株式会社 ● 株式会社ワールドシンコー

表紙について

富山湾越しに雄大な立山連峰を望む氷見の里山に、自然の地形を活かした西洋風の広大な庭園「フォレストフローラル氷見あいやまガーデン」があり四季折々の花がたくさん咲いています。5月中旬から240種3000本を超える多種多様なバラを植栽した「ローズガーデン」は今年もきれいに咲き誇っています。

編集後記

春は桜のシーズンです。富山県の桜の特徴は、3月中旬に開花するキンヤマメザクラを始め、7月中旬にタカネザクラが咲き終わるまでの4か月間にわたる日本一長い桜の開花リレーが楽しめることです。標高差のある地形と、他県には見られない野生種の桜の多さが開花期間を延長させているそうです。北陸新幹線の開業や能越自動車道の氷見～七尾間の延長に伴い、富山県もにぎわってきました。これからの氷見の季節は桜から始まり、ごんごん祭りなどのお祭り行事、朝日山のつつじ、そして海岸から見える雄大な立山連峰のすばらしさなどは地元の私たちも感動させられます。また食の文化としても豊富な町です。氷見は不便と感じるところもありますが、良いところもたくさんあります。休日は市内を巡って感じてみませんか？

かけはし春号編集委員 平野 貢三子

■広報誌「かけはし 氷見」の由来

広報誌が患者さんと病院、地域と病院をつなぐ“かけはし”となることを願って命名されました。